

家庭

2003年(平成15年)7月7日 月曜日

給食の生ごみ+剪定枝



持参した袋に「とよっぴー」を詰めても
らう利用者=いずれも大阪府豊中市で

4年越し市民の活動実る
つてもりたり、公園の花壇に利用したりしてきました。
3年間の実験の成果を受けて、市民が豊中市に事業化を提案。食品リサイクル法が制定されたこともあり、同市は昨年、堆肥化施設を建設し、稼働させた。市内に2カ所ある給食センターのうち、現在は1カ所から食べ残しと調理くずを回収。市内41校中、21校(1万2241食)分にあたる。今後、もう一つのセンター(16校分)からも回収を進めていく。

給食の生ごみは、やはり
生ごみと街路樹などの剪定枝が
「とよっぴー」が、地元の家庭
菜園愛好者らの人気を集めてい
る。市民主導で4年前に始まつ
た実験が実を結び、昨年から堆
肥化施設が稼働。今年4月から
月2回、市民向けに有料で配布
し始めたところ、「安価で使い
やすい」と好評だ。

6月25日、大阪空港に隣接する「緑と食品のリサイクルプラザ」には、「とよっぴー」を買い求める人が自転車や車で次々と集まってきた。同市庄内栄町に住む小松憲三さん(63)とマスミさん(63)の夫婦は、榎野孝重さん(63)と連れだつて自転車で来た。同じ貸農園で20種

持参すれば12kg)で200円

入り計11袋を購入した。

3人で6kg入りが100円、6kgが150円。袋を

持参すれば12kg)で200円

はけもいいよ」。3人で6kg入り計11袋を購入した。

3人で6kg入りが100円、6kgが150円。袋を

持参すれば12kg)で200円

はけいいよ」。3人で6kg入り計11袋を購入した。

</div